

多文化共生社会の実現へ！ 笠間市国際交流協会創立30周年記念式典

通常、こちらの記事では笠間市に観光で訪れた外国人に登場してもらい、訪れたところや地域の人との交流などについて、一般社団法人 笠間市国際交流協会の職員によるインタビュー形式の記事を掲載しています。今回は創立 30 周年を迎えた笠間市国際交流協会の記念式典の様子をお知らせします。



「笠間市国際交流協会創立30周年記念式典」を令和7年11月8日、笠間稲荷神社稲光閣で開催しました。講演会では、コロンバス芸術大学（米国オハイオ州）教授の早川^{はやかわ}さんが「海外を魅了する芸術の街かさま」と題して講演。アメリカと日本の共通点や違い、アーティストへの経済支援活動などを紹介し、質疑応答では若手芸術家への支援やPRの施策などについて活発な議論が交わされました。

そのほか、笠間稲荷ばやし保存会の和太鼓演奏、筑前琵琶の演奏、合気道国際交流演武、タイ王国古典舞踊披露など、多彩なプログラムが催され、国際交流の輪が広がりました。

国際交流協会は、これからも笠間市と海外の皆さんを繋ぎ、笠間の魅力を世界に向けて発信していきます。今回の「Face to Face」もお楽しみに！



記念式典の様子